

Noah4 をお使いの場合は、Noah4 を起動してオーディオグラムなど顧客情報を登録します。
顧客情報の登録が終わったら、モジュールリストから「COMPASS GPS」を起動し、**4** へお進みください。

1 COMPASS GPS を起動します。



UNIQUE のフィッティングには、COMPASS GPS V2.0 以降が必要です。

2 COMPASS GPS スタンドアローン データベースにログインします。

イニシャル : ADM
パスワード : GPS
(いずれも半角大文字)

3 COMPASS GPS スタンドアローンデータベースに顧客情報を登録します。

新規フィッティングの場合は、「新しいセッション」ボタンを、微調整の場合は保存されているセッションを選択し、「セッションを開く」ボタンをクリックします。

顧客およびセッションを選択してください

顧客名の並び替え : フリガナ (昇順)

最新オーディオグラム

最新デバイス

右耳
左耳

オーディオグラムの入力

顧客コメント

新しいセッション セッションを開く GPSを閉じる

新規顧客を追加 顧客データの編集 顧客データの削除

新しいセッション ... 新規フィッティング
セッションを開く ... 微調整
GPSを閉じる ... COMPASS GPS の終了

4

「接続」ボタンをクリックします。



5

補聴器の左右を指定し、「次へ」ボタンをクリックします。



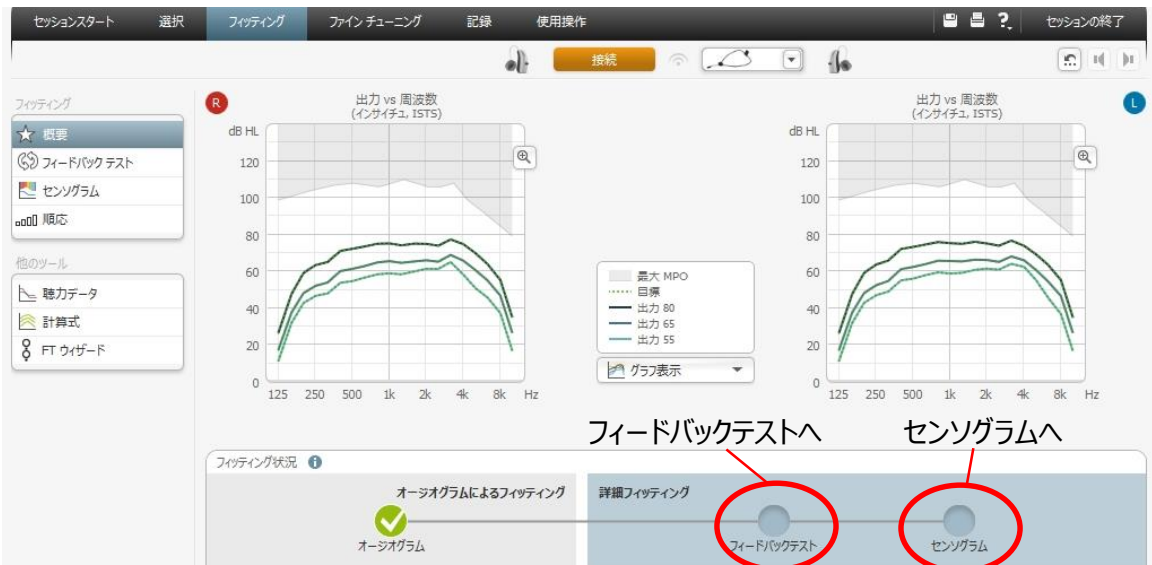
6

補聴器の音響構成を指定し、「OK」ボタンをクリックします。



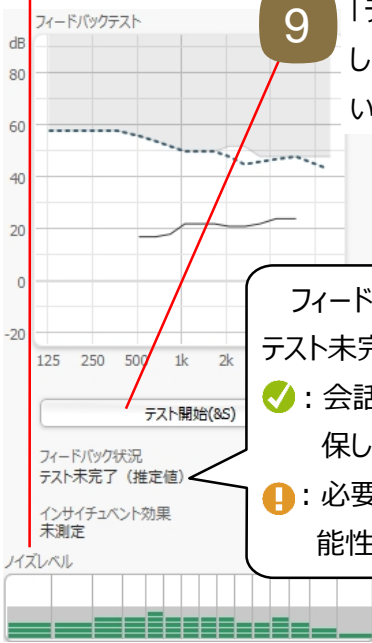
7

「フィードバックテスト」・「センソグラム」測定を行います。



<フィードバックテスト画面>

8 「ノイズレベル」すべてグリーンになっているか確認します。

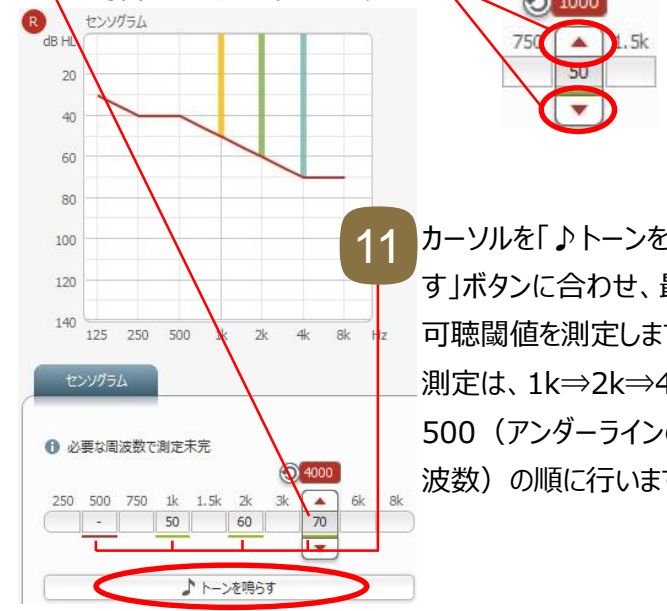


9 「テスト開始」ボタンをクリックし、フィードバックテストを行います。

フィードバックテスト状況
 テスト未完了：測定されていません
 ✓：会話聴取に必要なゲインを確保している状態
 !：必要な利得を確保できない可能性あり

<センソグラム画面>

10 測定する周波数の欄をクリックした後、上下の矢印キーで音のレベルをあわせます。



11 カーソルを「♪ トーンを鳴らす」ボタンに合わせ、最小可聴閾値を測定します。測定は、1k⇒2k⇒4k⇒500（アンダーラインの周波数）の順に行います。

聴力レベルの変化が急な場合はその他の周波数も測定します。

フィードバックテスト結果が悪かった場合

- ① 周りが静かなこと、補聴器の装用具合を確認
- ② 耳せんのサイズやベント径を確認
- ③ グラフで利得を確認
- ④ 会話の音量が足りているかどうか確認
- ⑤ イヤモードやシェルの形状の見直し

12 「ファインチューニング」をクリックし、音の大きさや音質の設定を行います。



IG ラウド

- ・かなり大きな音
- ・衝撃音の聞こえ
- ・自分の声（低域）

IG ノーマル

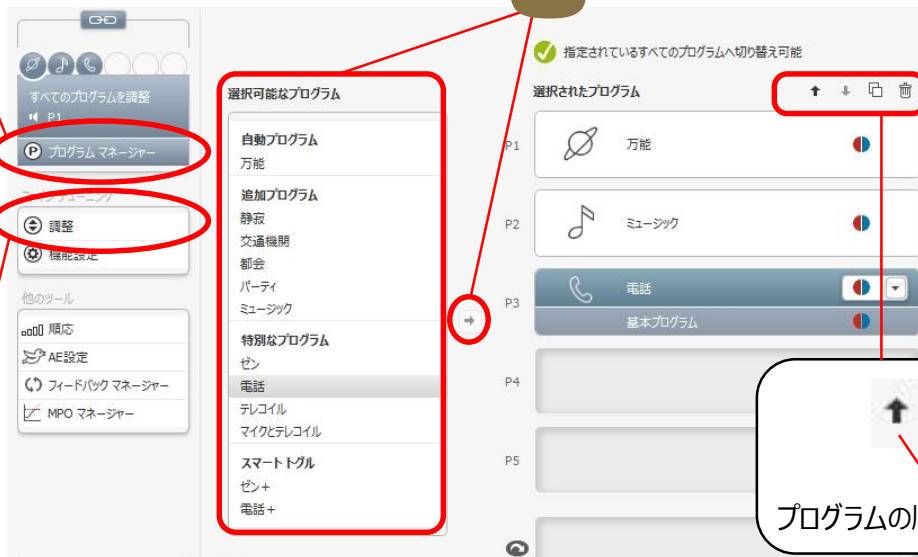
- ・会話レベル
- ・少し大きめの音
- ・テレビの音

IG ソフト

- ・小さな音の聞こえ方
- ・静かな場所での物音
- ・遠くの音の聞こえ方

13 プログラムを追加する場合は、「プログラムマネージャー」をクリックします。

14 追加するプログラムを選択し、「→」ボタンをクリックします。



15 プログラムの追加が終わったら、「調整」をクリックします。

16 「使用操作」をクリックし、DEX 設定や補聴器の構成を確認します。



RC-DEXとTV-DEXは、「マッチングの開始」ボタンからマッチングを行います。
※ COM-DEX、CALL-DEX、UNI-DEX、FM+DEXはマッチング不要です。

17 「補聴器構成」をクリックし、お知らせ音などの設定を行います。

18 調整が終わったら、「セッションの終了」で COMPASS GPS を終了します。



スピーカーのアイコンをクリックするとお知らせ音が再生されます。



調整データは、Noah4 や GPS スタンドアローンデータベースに保存されます。